シフト作成用

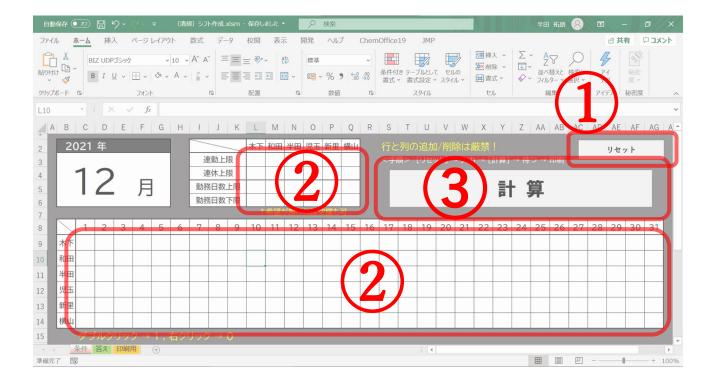
マニュアル

手順、注意点など

半田 拓朗 2021年11月1日

手順

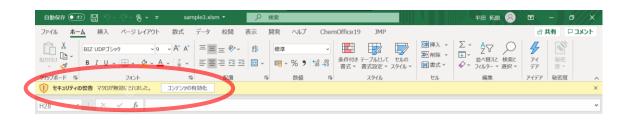
(2021-11)



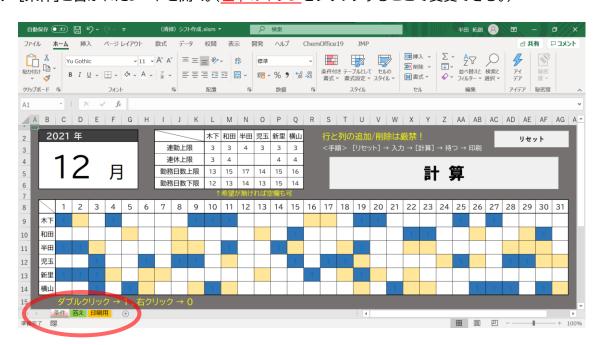
手順(詳細)

(2021-11)

- 1. シフト作成用のファイルを開く。
- 2. 開いたときこの黄色い表示が出たら、[コンテンツの有効化]と書かれたボタンをクリックする。

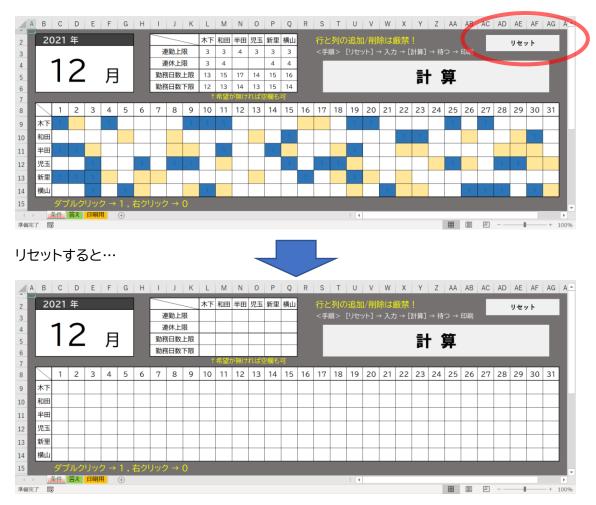


3. [条件]と書かれたシートを開く。(左下のボタンをクリックすることで変更できる。)



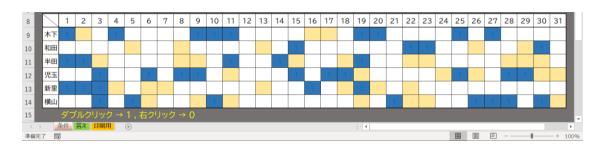
上のような [リセット]ボタン や [計算]ボタン があるページが表示されていれば OK。



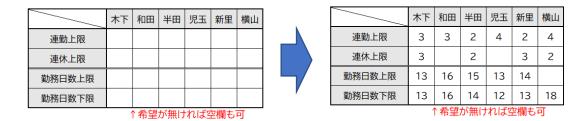


5. 以降は、提出してもらったシフト希望表を見ながら入力していく。

出勤希望については、<u>○(絶対入れたい日)は ダブルクリック</u>して青色に、<u>×(絶対入れたくない日)は 右クリック</u>して黄色に変える。空欄(どちらでもない日)はそのまま<u>空欄</u>にする。<u>閉館日は全員×</u>で良い。 31 日まで無い場合、存在しない日は空欄で良い。



6. その他の希望については、1 人につき <u>4 つの条件</u>があるので、対応する場所に書かれている数字をそのまま入力すればOK。ここの項目はすべて、希望が無ければ空欄でも問題ない。



7. 以上で入力は終了。間違いが無いか確認したら、<u>右上の計算ボタン</u>を押す。

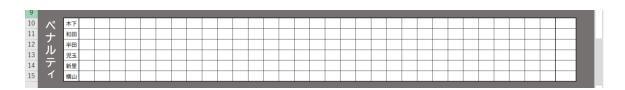


8. ボタンを押すと、画面が変わり、残りの計算時間が表示される。60 秒間計算する設定だが、条件を満たすシフトが見つかったら、60 秒経つ前に自動的に次に進む。

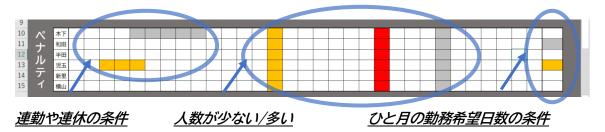


9. 計算が終わると、シフトとペナルティが自動で入力されるので、確認する。条件を満たしていればペナル ティの部分は真っ白になるが、満たしていない条件があると対応する位置の<u>色が変わる</u>。色によってペ ナルティの重大度は異なる。

<条件を満たしている場合>

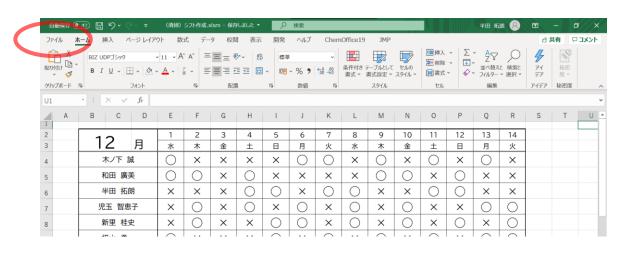


<条件を満たすことができていない場合(一例)>

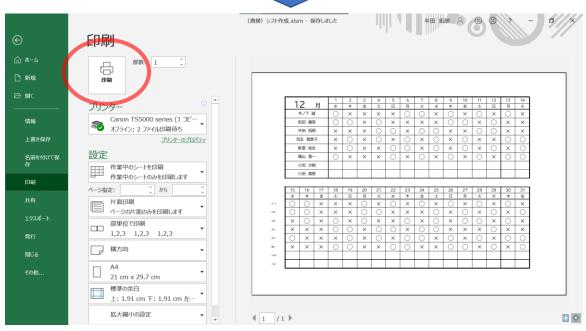


- 10. 基本的に、今よりペナルティが少ないシフトは得られない。どうしても今のシフトがダメな場合は 7 に戻って再び計算する。(そうでなければ、後の調整は個別にする方が望ましい。)
- 11. 左下のボタンから[印刷用]シートに移動する。曜日やシフトの○×は全て自動で入力されているので何もやらなくてよい。

左上の[ファイル] → 左真ん中の[印刷] → [印刷]ボタン の順に押せば印刷できる。







注意点

(2021-11)

<ファイルの変更や修正について>

- 基本的に[条件]のシートしか触らないようにする。
- データの入出力はセルの位置(番号)をもとに動いているので、行や列を追加してしまうとズレが生じる。そのため、行や列の追加・削除はしてはいけない。
- シート(左から[条件][答え][印刷用])の順番も、同様の理由から変更してはいけない。
- ただし、ファイルの名前やシートの名前は変更しても問題ない。
- 入力を修正する際には、修正する部分以外が変わってしまわないように注意する。

<入力について>

- その他の条件(連勤上限など)は、各々の出勤希望の残りの部分にだけ適用される。
 - 例えば、出勤希望に 7 日連続の×があって連休上限が3だった場合も、7 日連続の×はそのままで、他の部分で×が 4 つ以上続かないようにシフトが作られる。
- 31 日までない月でも、勝手に空欄になるので何も入力しなくてよい。
- 現状では、連勤・連休は前月のシフトから数えることはできないので、必要なら各々で出勤希望を 調整する。

例えば、1月29日~31日までシフトが入っていて、4連勤を避けたいなら、2月1日を×(絶対休み)にして提出するなど。

<その他>

● 正しく動かなくなったら、オリジナル版のファイルをコピーしてそちらに入力しなおす。